



みんなで喜ぶ 1年生の入学

校長 大谷 京司

さわやかな春風とともに、子どもたちの元気な声が戻ってきました。4月の学校は新鮮な空気で満ちあふれています。3月に植えたじゃがいもにも可憐な紫色の花が咲き始めました。



2人の新しい先生、4人の転入生、7人の新1年生を迎えて4月8日に令和5年度がスタートしました。始業式では、今学期頑張りたいこととして、多くの上級生から



1年生を支えていきたいといった言葉が聞かれました。入学式では、事前に準備したキラキラのメダルと折り紙を1年生にプレゼントするとともに優しくお祝いの言葉をかけている姿が印象的でした。

しばらくして、6年生と1年生が校地の竹林にたけのこ掘りに挑戦した際には、6年生が鍬の使い方を手を添えて教えてあげる姿も見られ、とても微笑ましく思いました。今年は10本以上のたけのこを掘ったと思いますが、採るまでの苦労と採ったときのずっしりとした重みは、きっといつまでも記憶に残ること



思います。

7人の新入生、ステージの上ではさぞかし緊張したことと思いますが、みんなまっすぐ前を向いて、実に堂々としており、たくましく感じられました。

これから、七沢の自然の中で力強く根を張り、たけのこのように心も体もぐんぐん、そして、しなやかに成長してほしいと思います。



夏野菜の栽培に向けて



トマトやキュウリ、なすなどの夏野菜をこれから植えるために、先日畝立てを行いました。ここでも、上級生は下級生に鍬を使って土を掘り起こし畝を立てる方法などを優しく教えてくれました。

地域の方にも畝立ての仕方やこれから植える野菜の育て方、注意点などを細かく教えていただきました。

昨年、全滅だったとうもろこし、今年は獣に食べられずに収穫することができるでしょうか？



七沢森の色合わせ



くらしの授業では、春の自然の中でグループごとに和のカラーパレットをもとに色探しを行いました。花や葉、木の枝などを見つけてはパレットに空いた穴からそれを覗いて、どの色に一番近いかグループで話し合って決めます。同じ色合いでも微妙な違いがあり、それぞれに趣のある和名が付けられていることなど楽しい発見の時間となりました。



十八番朝会

初めての十八番朝会。自分の得意なことや夢中になっているこ

とをみんなの前で発表します。自分で練習していた時よりも良い結果が出る本番に強いタイプの子も結構います。みんなの前に立つときは緊張しますが、終わってみんなからの拍手を受けるとホッとした表情に。さらにインタビューでその演目を選んだ思いやコツなどを聞くとなるほどと思うことばかり。多くの児童にチャレンジしてほしいと思います。



幼初連携 砂運び

七沢幼稚園の砂場に砂を運ぶお手伝いを1・2年生で行いました。園児が砂がいっぱい入ったバケツを重そうに運んでいると、すかさず初等学校の児童がとんできて、手を貸していました。

上級生として活躍した1・2年生、自信をもつことができたと思います。

